

# 図形楽譜の魅力

音楽班：厚地優花 市川詩恩 大村創磨 佐藤雅貴

## 1. はじめに

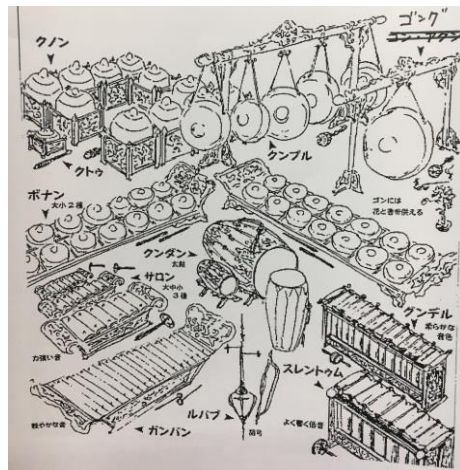
音楽を研究するにあたって、リズムというものに興味を持った私たちは、修学旅行でマレーシアに行くということで、ガムランという東南アジアの伝統的な音楽について研究し、大阪芸術大学にて、実際のガムランで使われている楽器を見たり、演奏したりした。その際に、私たちがよく知っている五線譜の楽譜以外にも楽譜があるということを知った。

次に、相愛大学の中谷満教授に来ていただき、本格的にリズムについて教えてもらった。その時、図形楽譜という今まで見たこともないような楽譜の存在を知った。この二つの出来事から図形楽譜に興味を持ち、自分たちで作ってみようと考えた。

## 2. 研究内容

### (1) 前期の活動について

リズムについて研究するために打楽器について調べていたところ、世界には様々な打楽器があることを知った。そのなかで、修学旅行先でもあった東南アジアの伝統音楽のガムランに出会い、研究した。ガムランとは、伝統的なインドネシア音楽のひとつで、主にマレーシアやフィリピンに広まっている民族音楽である。研究するにあたって、大阪芸術大学を訪れ、ガムランについての知識を教えてもらった。ガムランの演奏はおもにコテカンというものが使われている。コテカンとは、型にはまったリズムがなく演者がお互いの音を聞き、正確にずらすという演奏技法である。ガムランに使われている楽器はボナン、サロン、クンダン、ゴングなどがある。実際に楽器を見たり演奏したりした。



ガムランの楽器

演奏する際に、ガムランには本来楽譜が存在せず、今回使用したのは自分たちが演奏しやすいように自作したものだということを教えていただいた。そこで私たちは世界には音楽を伝える方法が五線譜以外にもあるということを知った。

次に、相愛大学の中谷満教授に來校していただき、リズムについて本格的に教えていただいた。リズムとは2拍子と3拍子から成り、これらを組み合わせることによって4拍子などの基本的なリズムから、6拍子、8拍子などの特殊なリズムまで、様々なリズムを表現できる。また、中谷教授に図形楽譜という私たちには馴染みのない楽譜を見せていただいた。そこで、私たちは研究の照準を図形楽譜に合わせ、後期の研究へと繋げた。

## (2) 後期の活動について

図形楽譜の存在を知り、世界でいま主流となっている五線譜と比較し、双方の利点と欠点を調べるために私たちも自ら作曲し、図形楽譜と五線譜を作成することにした。

### ・ 楽譜の作成について

#### ① 五線譜の作成

ピアノを用いて五線譜を表す楽曲を作曲し、五線譜で表す。



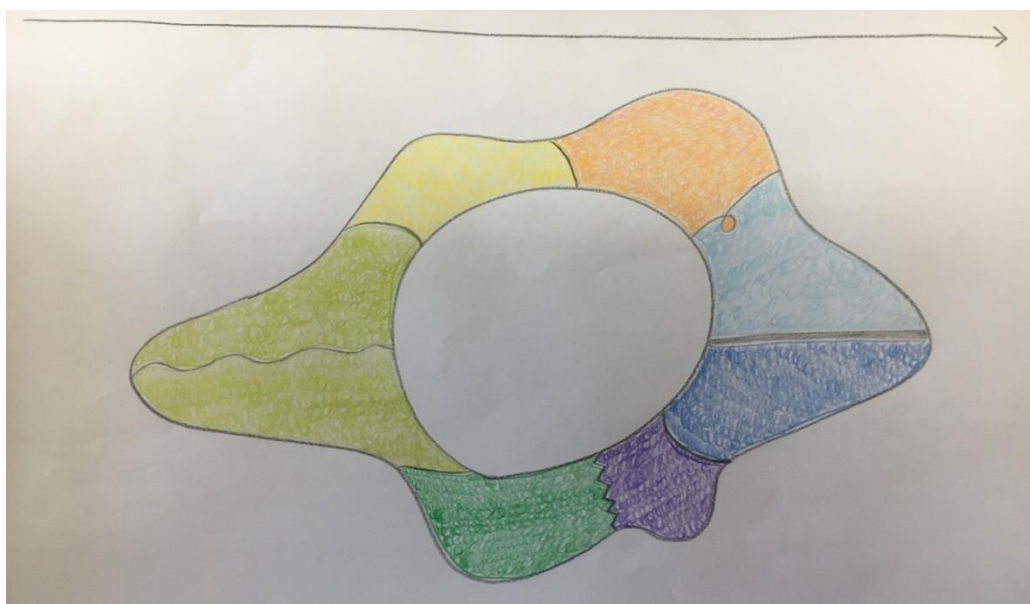
↑ 作成した五線譜

## ② 図形楽譜の作成

(手順)

- 1) 曲のテーマを決める。
- 2) 使う楽器を決める。
- 3) 譜面上でのルールを決める。
- 4) 図形楽譜を作成する。

作成した図形楽譜から作曲する。



↑ 作成した図形楽譜

## 3. 考察

以上より五線譜と図形楽譜のメリットとデメリットを比較し考察とした。

	五線譜	図形楽譜
メリット	一目見てすぐに楽譜だということがわかる。 誰でも同じように演奏することができる。 再現度が高い。 作成者の意図が伝わりやすい。	作成者の思った通りの楽譜が作りやすい。 絵や図など、あらゆるものを使って表現できる。 演奏者によって演奏が変わる。
デメリット	ルールに縛られるため、演奏者の自由度が低い。 音符が読めないと、演奏ができない。	楽譜だと分かりにくい。 演奏者によって演奏が変わってしまう。 作成者の意図が伝わりにくい。

#### 4. 今後の課題

- (1) 前期でしっかり研究できなかったリズムについて  
もっと詳しく調べる
- (2) 考察を生かしてより良い図形楽譜を作成する。

#### 5. 協力

大阪芸術大学

相愛大学 中谷満教授